

学校だより



津市立櫛形小学校
R5.11.17 発行
第11号 文責:校長

大丈夫ですか？ オンラインゲーム

子どもたちの会話の中に「(ゲーム上に)〇〇時集合ね」という話を耳にすることが多くなりました。オンラインゲームがどんどんと広がってきている印象を受けます。オンラインゲームは、1人でゲームしていても、オンライン上で友だちや知らない人と一緒にプレイをすることが出来るため、子どもも大人もゲームを楽しめるようになっていきます。小学生の間でもボイスチャットをしながらプレイできるゲームなどの話題が増えてきています。

しかし、楽しい反面、トラブルも数多く報告されています。櫛形小学校も例外ではありません。ご家庭での状況はいかがでしょうか？ 報告されているトラブルで多いのが、以下の4つです。

- ・オンラインゲーム上での仲間はすし
- ・1日に何時間もゲームをしてしまう(依存傾向)
- ・ボイスチャット中の言葉づかい(ゲームに熱くなるあまりの暴言)
- ・課金に関するトラブル

子どもが「ゲームに熱中しすぎて時間が守れない」という話は以前からよく耳にしますが、オンラインゲームには、「トラブルがあっても見つかりにくい」という負の側面があります。今、一度ご家庭のゲームに関しての状況をご確認いただければと思います。

先日、保護者の方が

「『みんなもやっているから』と子どもに言われると、「そうなのか・・・」と思って、心配しながらもなんとなくプレイさせてしまっていました」と話されました。

オンラインゲームに関しては、子どもは、大人の一步も二歩も先を行っています。オンラインゲームに限らず、ゲームをする場所、時間、オンラインチャットを許可するのか、課金についてのルール等、お子様と家庭でのゲームのルールの確認をお願いしたいと思います。

☆ 修学旅行に行ってきました！！ ☆

11月7日(火)8日(水)に6年生が修学旅行に行ってきました。明け方まで雨が降っていましたが出発時は雨も上がり、6年生を思う人たちの願いが空に届いたかのような、とても良いお天気のなか、2日間の修学旅行を楽しむことが出来ました。

1日目 11月7日(火)

最初の見学地は世界遺産に登録されている、日本に現存する最古の木造建築である法隆寺。ちょっと緊張気味の!?6年生。ガイドさんの話を聞いてしっかりとメモをとっていました。



次は奈良公園。鹿の姿を見つけた子どもたちはバスの中から歓声を上げていました。でも、鹿せんべいを持つ子どもたちに、お礼をするどころか猛進してくる鹿が結構いて、鹿せんべいを投げるようにして逃げる子どももいました。聞くとところによると、これもコロナ禍の影響だとか。コロナ禍で観光客が減り、お礼をして鹿せんべいをもらうこと



を、親鹿から子鹿に伝えることが出来なくなったそうです。鹿の世界にもこのようなことが起こっていることに驚きました。鹿との時間を楽しんだ後は、二月堂から奈良の街を眺め、大仏殿へ。世界最大の木造建造物である大仏の大きさに驚き、大仏の鼻の穴と同じサイズの柱の穴をくぐって、その大きさを体感しました。

そのあとは、正倉院展開催期間と修学旅行が重なったこと、そして小規模校である強みを生かして、なんと正倉院展を鑑賞することができました。正倉院宝物を代表する屈指の名宝を目にし、歴史が織りなすロマンを五感で感じ取ってくれたと思います。



そして最後の見学地二条城。二の丸御殿でうぐいす張りの「キュッ、キュッ」という音を聞きながら、江戸幕府が大政奉還を行った大広間を子どもたちはじっくりと見学していました。最後に外に出て、床下にもぐって、うぐいす張りを観察。子どもたちは興味津々でした。

そして、ついに子どもたちお楽しみのホテルに到着。子どもたちはキャッ、キャッと喜びながら部屋に入りました。みんなで夕食の中華定食を味わった後は、またまた小規模校の強みを生かして「夜の京都を散策」を楽しみました。ライトアップされた八坂神社、そして良い縁はそのままだに、悪い縁だけ切ってくれる安井金毘羅宮へ。みんなで縁切り石をくぐりました。そのあと四条通りを歩いて都会を感じ、風流な祇園の空気も吸って鴨川まで歩きました。このロングコースと、昼間の疲れがある子どもはショートコースを選択し、それぞれが夜の京都を楽しみました。みんながホテルに戻ってから、お風呂に入り、お菓子を食べながら、楽しい話に盛り上がり、楽しい夜を過ごしていました。



2日目 8日(水)

ホテルを7時50分に出発して、歩いて清水寺に向かいました。普段は長蛇の列を作って順番待ちしている音羽の滝では、ほとんど待ち時間なく水を飲むことができました。清水の舞台からゆっくり京の街を見下ろすこともできました。見学を終えて、駐車場に向かうと清水の坂を上ってくる人の多いこと。駐車場に入れない観光バスも出始めていて渋滞が始まっていました。そんな渋滞をしりめに、楡形小学校のバスは渋滞に巻き込まれることもなく金閣寺に到着。金閣寺も空いていて、まぶしい金閣寺をじっくり堪能することができました。



次は、大徳寺大仙院での座禅、お抹茶体験です。座禅では「無心になって自分と向き合う」ところまではいきませんが、和尚さんから警策をいただくとその音に空気が引き締まりました。呼吸をととのえて心を落ち着かせることができたのではないかと思います。(合掌をして、希望した子どもだけに警策が与えられます。)



最後は、八つ橋庵ししゅうやかたで、昼食・買い物・ねりきり和菓子体験を楽しみました。ねりきり和菓子体験は「小学生には難しいかも…」と言われましたが、日本の職人文化の素晴らしさを体験するまたとない機会ということでチャレンジしました。なんと大人顔負けのねりきり和菓子の仕上がり!! 子どもの新たな一面を発見する機会となりました。自分が作った3種類のねりきり和菓子は家族へのお土産。

そして、楽しい時間はあっという間に流れ帰途に。帰りのバスでは「車中泊でいいから、もう一泊させてください」という懇願や、タイムマシーンで30時間前に戻っての修学旅行の行きのバスの中の演出、子どもたちのスローガン通り「全力で学び、全力で楽しみ、11人の絆を深め、心に刻もう、最高の思い出の修学旅行」になったことを実感する時間となりました。

保護者の方々には修学旅行に向けての準備に始まり、見送り、お迎え等、ご協力いただき本当にありがとうございました。

